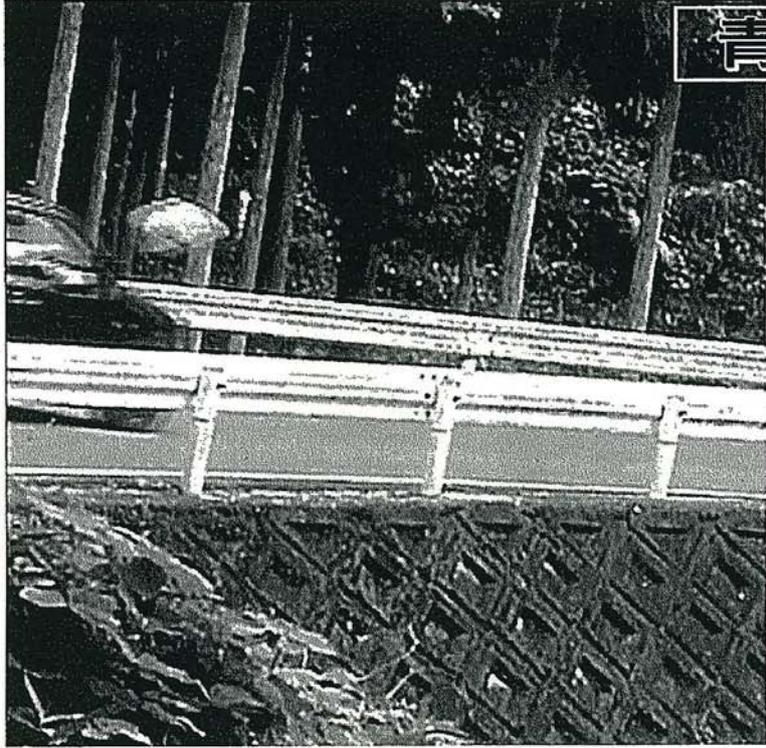


「ごみ投棄」撮った!!

青蓮寺ダム



ごみ投棄の瞬間をとらえたビデオ映像—名張市で昨年7月23日
(青蓮寺ダム管理所提供)

家庭用ビデオで21日

業者やし管理所 容疑者検挙の端緒に

名張 名張市中知山の青蓮寺ダムで、湖水路でのごみ違法投棄が後を絶たないことから、同ダム管理所（猿樂義信所長）は特に顕著な地点に家庭用ビデオカメラを設置。撮影開始から21日目に投棄の瞬間をとらえ、映像の提供を受けた名張署が容疑の男を現行犯で検挙していたことが分かった。

【湖脇直樹】

同ダムは地元や関西地区の飲料水源として70年7月に完成した。ダム湖を取り巻く13キロの道路では家庭ごみや産業の違法投棄が常態化し、管理所は週4回の巡回をしているが、いたちごっこが続いている。

30年前にも勤務経験のある所長代理の北川泰則さん(50)は昨年4月に着任後、以前より

事態が悪化していることを痛感。「自力で当事者を突き止めるしかない」とビデオ撮影を思いついた。

昨年6月26日から、特定の人物が投棄していると思われる道路付近の樹上や草陰などにカメラ2、3台を置き、毎日午前6～10時に撮影。7月23日、黒い軽乗用車のドライパーが走りながらごみを投げ捨てる場面が写っていた。8月3日にはナンバーの4ケタまで判明し、名張署に動画を提供。警員5人が同17日、現場周辺に張り込み、午前7時44分、家庭ごみを投げ捨てた市内の40歳代の男を廃棄物処刑法違反容疑で検挙した。同署は「ごみ投棄が現行犯で摘発されるケースは珍しい」と話す。

容疑者検挙まで北川さんは毎朝5時半に起き、撮影地点を少しずつ変えながら、カメラの設置と回収を続けた。投棄場面を確認した時は「やった」と思わず歓声が上がったという。

北川さんは「急斜面に捨てられたごみの回収では、作業員が大変な危険にさらされている」と訴え、「今後とも警戒の目を光らせていきたい」と話している。

平成22年3月3日付
毎日新聞
伊賀版・23面掲載

青蓮寺ダムで常習不法投棄者が検挙されました！

青蓮寺ダム周辺の道路脇には一般家庭ゴミを不法投棄されることが多発していました。今回、不法投棄常習犯による投棄現場の撮影に成功し、名張警察署へ撮影DVDを届出して、不法投棄者の逮捕に至りました。

5月17日の名張クリーン大作戦でゴミ回収しましたが、数日後から毎日のように投棄されました。



【5月17日撮影】



【5月22日撮影】

ビデオカメラにて6月26日～8月13日の間で延べ21日間にわたり撮影しました。



【ビデオカメラの設置状況】



【撮影に使用したビデオカメラ3台】

走行中の車からゴミ袋を不法投棄する状況を撮影しました。



【○は車中からゴミを投げた瞬間です】

【7月23日以降4回撮影DVD】



↓
名張警察署へ届出

8月17日 不法投棄者逮捕

青蓮寺ダムでは、ビデオカメラの監視、ダム周辺の巡回パトロールを強化していきます。
ゴミの不法投棄防止のために皆様のご協力をお願いします。